

## 会議録

会議名	第38回 海津市地域公共交通会議
日時	令和6年10月22日(火) 13:30~14:30
場所	海津市役所 東館4階 災害対策本部室
出席者	委員24名 事務局4名 (株)テイコク2名
傍聴人	0名
議題等	報告1 小中学生夏休み無料パスポートの利用結果について 議題1 名古屋圏アクセスバス実証実験(海津津島線)の延長について 議題2 定時定路線バスの再編及び運賃(案)について【継続協議】

### 報告事項

#### 【報告1】 小中学生夏休み無料パスポートの利用結果について

事務局から、[資料1](#)に基づき説明

(岐阜大学 倉内副会長)

・パスポート事業の次につながる仕掛けとして、バスの車内またはバスに乗ってでないと行けないような場所で探検や宝探しといった夏休み中に子どもが楽しめる仕掛けがあるとよい。アンケートでは、公共交通の利用、認知、デマンド交通の登録状況、事業後にバスを使うようになったかを問う設問を盛り込み、調査の媒体として活用してほしい。

→ 今後検討する。

### 協議事項

#### 【議題1】 名古屋圏アクセスバス実証実験(海津津島線)の延長について

事務局から、[資料2](#)に基づき説明

(委員)

・海津津島線について、「実証運行」という言葉を使っているのはどういう意図か。2年後に見直しをする形になるのか。

→ 実証運行終了後は本格運行に移行することを想定しているが、一旦2年で区切り、利用状況を見た上でダイヤ改正や運賃変更の必要ないか評価した上で移行したいと考えている。

(委員)

・場合によっては、実証運行終了後は運行しないという選択肢もあるか。

→ 2番目に利用者が多い路線であり、現時点では廃止とすることは想定していない。定期利用者のうち半数の15人が大学1年生または高校1年生のため、来年以降も増加することが予想される。2年後の状況は分からないが、2年後には本格運行に移行することを考えている。

(委員)

・利用客は増えているが、市民には海津津島線に対する認知が低いのではないか。改めて市民に向けてのPRや、名古屋から海津市に来てもらうためのPRをしてほしい。

## 【議題2】定時定路線バスの再編及び運賃（案）について

事務局から、資料3に基づき説明

(委員)

・海津津島線の車両がバス車両にかかわるということだが、大型二種免許を持つ運転手を確保できるのか。

→ 運行事業者と協議し、増車する1台分の運転手については対応できると回答いただいた。

(委員)

・大型二種免許を保有している方が少ないので、海津津島線とお千代保稲荷線のみをバスで運行し、市内の他の地域はデマンドバスで運行すればスムーズになるのではないか。

→ デマンド交通の繁忙時間帯については予約が取りづらい状況である。ある程度の利用が確保できる場所は定時定路線で運行し、コミュニティバスが運行できない地域では、交通空白地帯とならないようにデマンド交通を運行したいと考えており、現状の定時定路線は可能な限り維持したい。

(委員)

・毎回の資料を見ると、定時定路線バスは平日昼間の利用が少なく、バスを走らせる必要があるのか。デマンドバスを増車することで対応できるのではないか。

→ 年間の利用客数を見ると、コミュニティバス路線の乗客の方が多いと考えている。昼間はデマンド交通も定時定路線バスもほとんど乗客がいない時間帯があるが、住民の意見の中でバス路線が少ないと感じている方も多いため、出かけたいたいといったときにバス路線がある、バスの本数があることが重要だと考えている。

(委員)

・走行ルートについて、現在民家があまりない地域を走っているが、ある程度民家がある地域であれば現状のバスのままだもいいと思う。実証実験が2年延長されるということなので、この後の状況を踏まえて検討いただきたい。

(委員)

・市内在住の65歳以上や障がい者は運賃が全区間100円であり、利用者からするととてもありがたい。100円でいろいろなところへ行けるということをPRしてほしい。また、無料パスポートについて、公共交通を使ったことがない子どもが、乗り方を勉強するいい機会になったということから、公共交通に好意的になってもらえるようPRしてほしい。

(委員)

・海津津島線のダイヤは、津島駅での名鉄との乗り継ぎが考慮されているか。バスが遅れた際に乗り継ぎができないことがあったことから、所要時間が30分が適切なのか見直し、鉄道との接続が確実に間に合うようにしてほしい。また、最終バスについて、電車が遅れてもバスは時刻通り発車してしまう。もし鉄道を待ってくれるのであれば、名古屋圏で働いている方や飲み会帰りの方へのアピールとなると思うが、対応できるのか伺いたい。

→海津市役所～津島駅間の所要時間については、運行事業者とも確認し、25分の便を30分に延長した。その上でまだ改善点があれば修正し、1月の地域公共交通会議で協議したい。津島駅の発車時間については、時間が来たら発車するというのは致し方ないことと判断している。

(岐阜大学 倉内副会長)

・車両サイズが小さくなる便があるが、現状の実績から見て大きな影響がないことを確認しているか。また、逆に車両が小さくなることで、今までは乗り入れができなかったところに行けるようになるといったところはあるか。

→各便の利用実績を確認した上で、ジャンボタクシーに変更しても大きな問題はないと判断している。

(岐阜大学 倉内副会長)

・車両サイズを小さくしたことで民家の多い道にも入れるようになり、利便性が向上することがあるかもしれないので、今後検討いただきたい。

○定時定路線バスの再編及び運賃（案）について、継続協議のため採決は第39回海津市地域公共交通会議にて行う。）

## 【総括】

(岐阜大学 倉内副会長)

## その他

(岐阜運輸支局 黒田委員)

公共交通フォトコンテストのチラシについて説明

## 閉会